

万足忍の子

万足 忍 作品集 万足 卓 絵



草の実文庫 理論社刊

たぬきの子

1100円

一九五九年七月発行

万足忍・作 万足卓・絵

発行者 小宮山 量 平

発行所 株式会社 理論社

東京都千代田区神田神保町一の六四
振替東京九五七三六
電話(29)五六六八〇九

東光整版印刷・橋本製本

草の実文庫・2



たぬきの子 目次

ぼくの詩集

風	9
とうふやさん	10
あり	11
めだか	12
くちなし	14
雨	15
雨あがり	16
夜あけ	17
おふろ	18

たぬき	20
ぼくのセーターをあむお母さん	21
病 気	24
石 屋	26
雨 の 日	27
シーソー	28
夜のゆうびんや	29
夏の朝	30
ふ ろ	32
雨あがり	33
さくらの花びら	34
背の世界	36
雨の日の電車	38
ハ ン	40



豆	41
えんぴつ	42
水たまり	43
犬	44
やかん	46
ざぶとん	47
桐の葉	48
ゆうがた	49
百姓の家	50
おばあさんの買物	52
ねずみとかたつむりの話しあい	54
火鉢	56
へそ	58
ミカン	59

指……………60

なんてん……………62

銭湯……………63

マッチ……………64

落ち葉……………66

俳句十七句……………67

ぼくの文集

朝のさんぽ……………75

ごはんたき……………76

ちよきんについて……………78

大掃除……………80

アイスクリーム……………83

教室……………84



おじいさん	86
すすむちゃん	88
ぼくのお母さん	90
さかなとり	92
鳥の 声	94
ししまい	96
ウサギのるすばん	97
子猫日記	100
も い	108
身体検査	109
ぼ う し	112
父の帰り	116
けんか二つ	118
さんぱつ	120

しじゅうがら	123
買いもの	130
ぼくが大人になつたら	133
すもう	135
ストーブ	137
江の島	142
しんせき	145
忍と「たぬきの子」	153
とびら・さしえ	
万足卓	

ぼくの詩集



風

びゅうん、びゅうん

風の音――

ぼくは風の音をおいかける。

それでも音ばかり、

びゅうん、びゅうん、

はっぱが風でとぶ。

ぼくもいっしょにとぶ。

とうふやさん

てんびんぼうをかついだとうふやさん。

とうふやさんは

らっぱを持っている。

ときどき立ちどまって

らっぱをふく。

おもたそりに

とうふをかついで、

ふらふらしながら

どこかへ行ってしまった。

が、らっぱは

いつまでもひびいてくる。

あ
り

ありはものも言わずに

黒糸のように、

そしてその糸を

だれかがひっぱるように、

穴をとおって

土の中のデパートへ

ずんずん

はいつて行く

めだか

.....

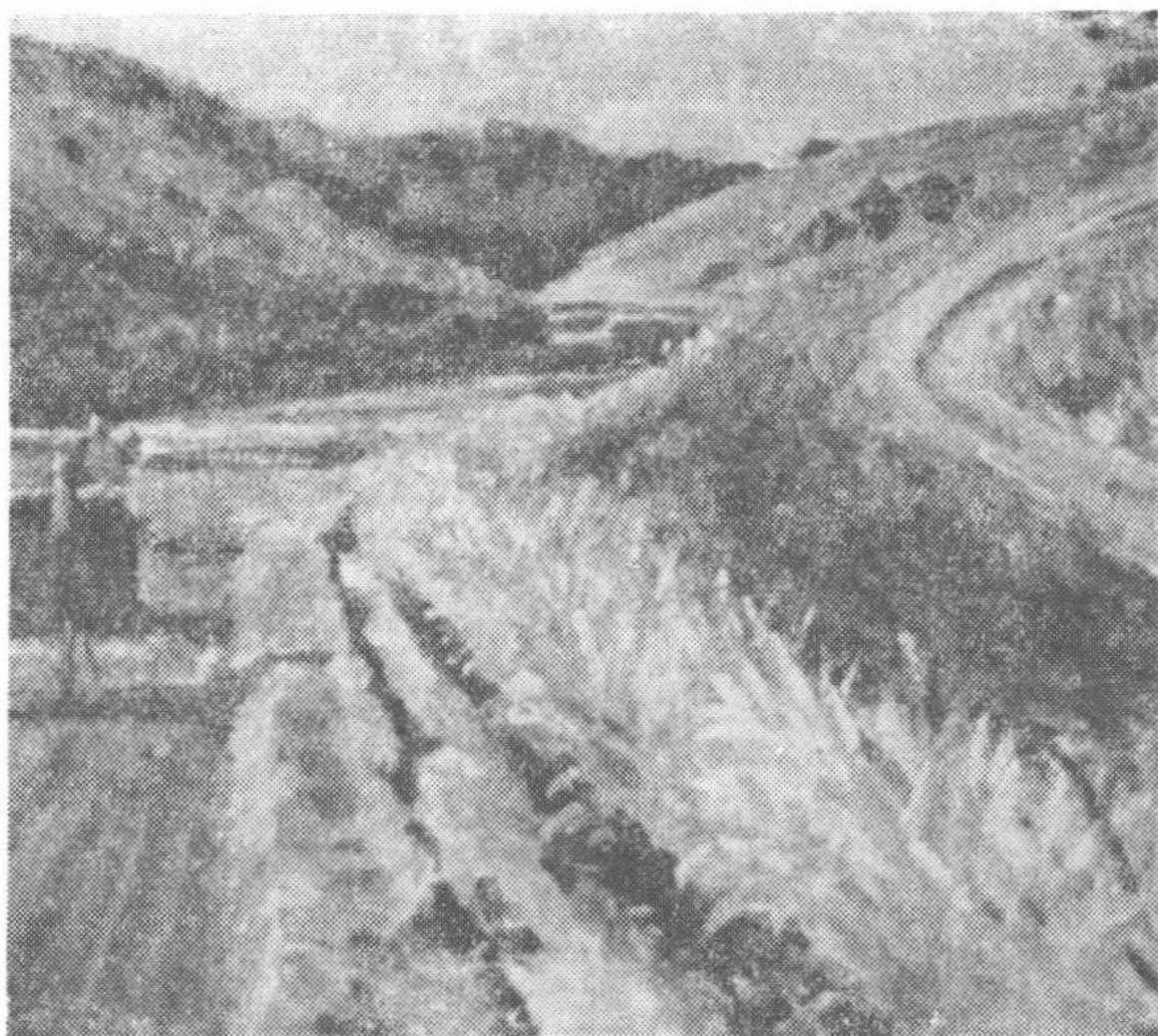
.....

めだかの行列

雨のよう

.....

.....



くちなし

くちなしが咲いた。

ぼくはにおいを吸いに
とんでいった。

はや蜂が来て

うまそうにみつをすっている。

ぼくのあとからも

蜂がとんできて、

すぐ花の中へはいっていった。